



since 1986

健康と温泉フォーラム第105回月例研究会

テーマ 「養生思想からみた温泉文化」

(対面集会形式)

Yojo (self-caring) and Onsen (hot spring)

- 主催：特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
共催：一般財団法人日本健康開発財団 特定非営利活動法人日本スパ振興協会
地域活性学会
(温泉療法医研修1単位申請予定)
- 日時：2023年2月24日(金) 14:00~17:00 開場 13:30~
- 会場：北とぴあ7階会議室701 (JR京浜東北線王子駅前)
- 形式：対面集会形式のみでWEB配信はありません。
- 会費：2千円(会員) 3千円(一般) 学生・報道 無料 (定員40名先着順)
- プログラム：
 - 1400 開会 開会挨拶、講師紹介
 - 第1部 講演「養生思想からみた温泉文化」
 - 1500 休憩
 - 1515 第2部 質疑応答
 - 1700 閉会
- 講師：西平直 (Tadashi Nishihira) (京都大学名誉教授)



講師略歴 1957年甲府市生まれ。信州大学・東京大学などで学び、立教大学講師・東京大学准教授・京都大学教授を経て、2022年より上智大学グリーンケア研究所・副所長、京都大学名誉教授。専門は、教育人間学、死生学、哲学。

■ 講演要旨

養生思想から温泉文化を見る。養生思想は古代中国に始まった。日本では貝原益軒『養生訓』の影響が大きい。養生は「気」を養う。気を停滞させない。気の新陳代謝を促す。江戸期の庶民に流行し、処世術として面白おかしく語られた。その江戸期は「湯治」が庶民の文化となった時期でもあった。ところが明治に入り、どちらも、時代遅れとなる。もはや養生ではない「衛生」の時代。それは単なる健康観の変化ではなかった。価値観の転換、自然と人間との関わり方の大転換。だからこそ、今日あらためて、養生が注目されている。自然と人間との関わり方が問い直されている。そうした長い養生思想の歴史から見る時、日本の風土に深く根差した「温泉」の文化はどのように見えてくるか。





返信先 FAX : 03-6804-8575
E-mail : info@onsen-forum.jp
: sumitogoda@gmail.com

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 (各□に✓をお願いします)

必要事項ご記入の上、上記FAX又はe-メールで返信をお願いします

第105回月例研究会 (2023年2月24日 (金)) に参加します
(対面集会形式で、WEB配信はありません)

●お名前 (複数可)

・
・
・

● 会員 (所属) 健康と温泉フォーラム 地域活性学会
 日本スパ振興協会 日本健康開発財団
 温泉療法医会 日本温泉気候物理医学会
 一般

●団体・組織名

●住所 〒

●連絡先 TEL _____ FAX _____ 携帯☎ _____

E-mail : _____ @ _____

(メールアドレスは必ず明確にご記入ください)

●会費 会員 2千円 一般 3千円
 当日会場受付でお支払いください。(領収書有)

●お問い合わせ 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム

☎ FAX 03-6804-8575 E-mail info@onsen-forum.jp sumitogoda@gmail.com

